

草加市立歴史民俗資料館
Soka City Museum of History and Folklore

れきみんだより

2024年9月15日発行 VOL.19

夏休み「れきみん体験教室開催」

親子で体験、良い思い出ができました

草加市立歴史民俗資料館では、毎年子どもたちの夏休み体験活動を開催しています。今年度も盛りだくさんの「れきみん体験教室」を開催しました。長期の休み以外でも体験活動を実施しています。是非、皆さんも参加してみてください。お待ちしております。

大昔の生活を体験しよう（火起こし）

大昔の体験ということで、昔の人々が火を起こすときに使っていた「まいぎり」という道具を使って、火起こし体験をしました。親子で力を合わせながら、発火する一歩手前、煙が出るまでの様子を体験しました。この日は、湿気が高く、発火には至りませんでしたが、参加者全員で、昔の火起こしの大変さを実感することができました。

竹水でっぼうを作ろう

自然に生えている竹を利用して、竹水でっぼうを作りました。材料は、片方に節を残した竹筒、ピストンにする木の棒、ピストンに巻くスポンジ、布切れ、しばるためのタコ糸です。

竹の筒とピストンがしっかり密着するように何度も調整を繰り返します。そして、とても難しかったのは、節のところに開ける穴の大きさです。穴が大きいと、水がすぐにもれて遠くに飛びません。小さすぎると、水が出にくい状態です。親子で何度も、布を巻いたり、はずしたり、巻き直したり苦労して、全部手作りの竹水でっぼうができました。完成後は、みんなで遠くまで水を飛ばして、楽しく遊びました。



「まいぎり」による火起こしの様子



竹水でっぼう、水が勢いよく飛んだー

恒例の「そうか芭蕉塾」 開催しました

・令和6年度テーマ

まつおばしゅう
松尾芭蕉と『おくのほそ道』の旅-象潟から小松まで-

・講師 谷地 快一 先生（東洋大学名誉教授）

・7月から8月にかけて連続4回の講座

元禄2年（1689）3月27日、松尾芭蕉は、門人の河合曾良を伴い、歌枕（古歌来歴の地）を巡る旅へと出立しました。有名な『おくのほそ道』の旅です。『おくのほそ道』には、奥羽長途の旅の第一日目の感慨として「其日漸 早加と云宿に たどり着にけり」の一文が記されています。「早加と云宿」とは日光道中第二の宿場町である草加宿のことであり、『おくのほそ道』は草加の地名が登場する、文学作品になります。

なお、芭蕉が草加宿に歩みを進めた3月27日は、現在の暦で5月16日に当たります。

今年度も、東洋大学名誉教授・谷地快一先生をお招きして「そうか芭蕉塾」を開催しました。特に今回の連続講座では、象潟から小松までを取り上げて、読み解いていただきました。初回にまとめて資料を配布しましたが、先生も毎回補助資料をご用意くださり、大変分かりやすい講演会となりました。

来年度以降も「そうか芭蕉塾」を開催したいと考えています。興味のある方は、歴史民俗資料館にお問い合わせください。



令和6年7月7日（日）第1回「そうか芭蕉塾」

「子どもたぬき絵作品展」開催

毎年、歴史民俗資料館を会場に、草加駅前一番通り商店会の主催による「たぬき絵コンクール」が開催されます。今年度も、歴代入選作品と共に今年度の入選作品を展示します。

歴史民俗資料館の前の通りは、通称「ぼんぽこ通り」といわれています。草加の昔話にも出てくる外山公園が近くにあり、昔はたぬきが住んでいて、出会った人を化かすという言い伝えがあります。実は近年、この付近でもたぬきの出没情報が飛び交っています。筆者も目撃者の一人です。皆さんも、たぬきと出会えるかも知れませんね。

・作品展開催期間

令和6年9月10日（火）～9月29日（日）

・会 場 歴史民俗資料館 2F 多目的室

※ ご来館お待ちしております。

草加市立歴史民俗資料館
facebook やってます
皆さんに草加市の歴史や文化、
資料館の活動を伝えたくて、公
式フェイスブックページを開設
しています。様々な情報を発信
していますので、ぜひ、ご覧く
ださい



市公式ホームページ、
または、上の二次元コ
ードからアクセスでき
ます

【開館時間】午前9時から午後4時30分

【休 館 日】毎週月曜日（祝日または振替休日の場合は翌平日）年末年始

【入 館 料】無料

【住 所】〒340-0014草加市住吉一丁目11番29号

【問合せ先】電話048-922-0402 FAX048-922-1117

